

アジアパシフィックシステム総研株式会社

ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.

2009年9月期 決算報告

2009.11.04

I 連結業績サマリー

◆ 業績の概況	01
◆ 資産の概況	02
◆ 品目別売上	03
◆ 業種別売上	04

II 今後の施策と業績予想

◆ 市場動向に対する認識	05
◆ 今後の施策	06
◆ 連結業績予想	07

III 補足資料

◆ 会社概要	08
◆ 注意事項	09

I - 01 業績の概況

単位：百万円未満切捨

	2008年9月期		2009年9月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,628	100.0%	6,726	100.0%	△ 902	-11.8%
売上原価	6,177	81.0%	5,446	81.0%	△ 731	-11.8%
売上総利益	1,450	19.0%	1,280	19.0%	△ 170	-11.8%
販売費及び一般管理費	1,143	15.0%	1,134	16.9%	△ 9	-0.8%
営業利益	307	4.0%	145	2.2%	△ 161	-52.5%
経常利益	320	4.2%	174	2.6%	△ 146	-45.7%
当期純利益	289	3.8%	89	1.3%	△ 199	-68.9%

売上高は、景気悪化の影響により受注環境が厳しくなる中、キヤノングループのチャネル活用や営業部門の挺入れ等により、受注競争力の強化に努めたものの、金融・製造・人材派遣業界向けのシステム開発・保守・運用案件の減少を補うことができず、前年同期比11.8%の減少となりました。

営業利益は、売上高の減少と販売費及び一般管理費の増加により、前年同期比で161百万円の減少となりました。一般管理費の増加要因として、セキュリティ対策、内部統制の整備と強化に伴うコスト増と新設会社(日本NonStopイノベーション社)の人員増強によるコスト増が挙げられます。

当期純利益は、上記営業利益の減少と当社親会社キヤノン電子株式会社との資本業務提携に係る手数料117百万円等を特別損失として計上したことにより、前年同期比68.9%の減少(199百万円減少)となりました。

I - 02 資産の概況

単位:百万円未満切捨

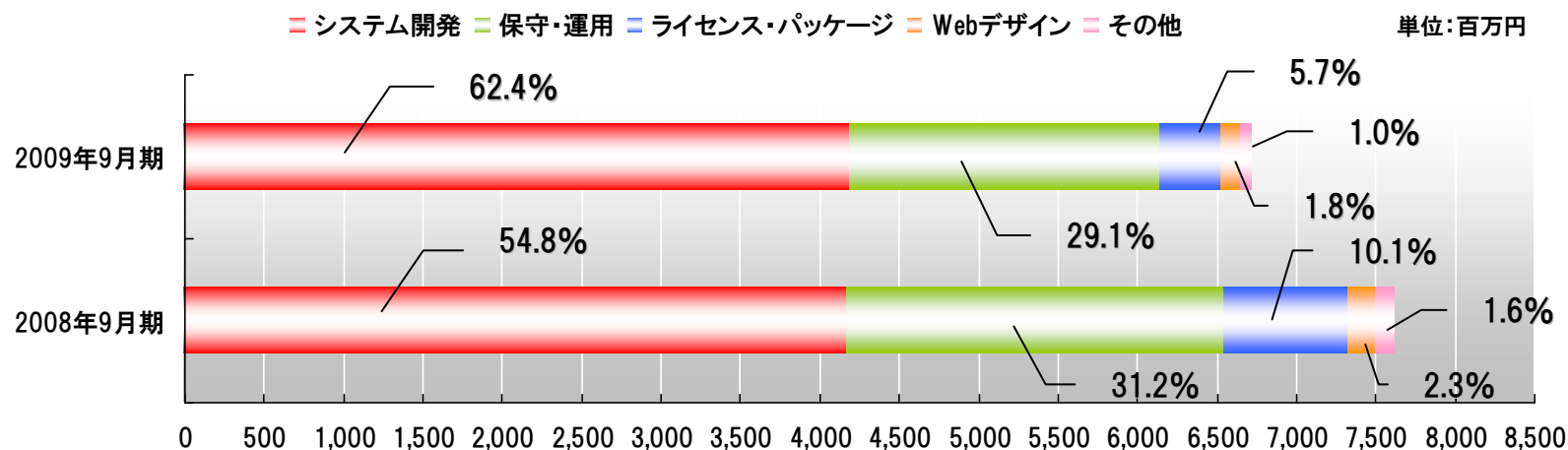
	2008年9月期		2009年9月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
流動資産	5,688	88.6%	5,392	87.6%	△ 296	-5.2%
現金及び預金	3,994	62.2%	3,435	55.8%	△ 559	-14.0%
棚卸資産	250	3.9%	485	7.9%	234	93.6%
固定資産	733	11.4%	763	12.4%	30	4.1%
無形資産	499	7.8%	549	8.9%	49	10.0%
その他	234	3.6%	214	3.5%	△ 19	-8.4%
総資産	6,422	100.0%	6,156	100.0%	△ 266	-4.1%
有利子負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
純資産	5,346	-	5,357	-	11	0.2%
自己資本比率	82.6%	-	86.5%	-	-	-

自己資本比率は86.5%、有利子負債もない状態であり、非常に強固な財務基盤を維持しております。また、現預金は3,435百万円あり、高い流動性を確保しております。

I - 03 品目別売上

単位:百万円未満切捨

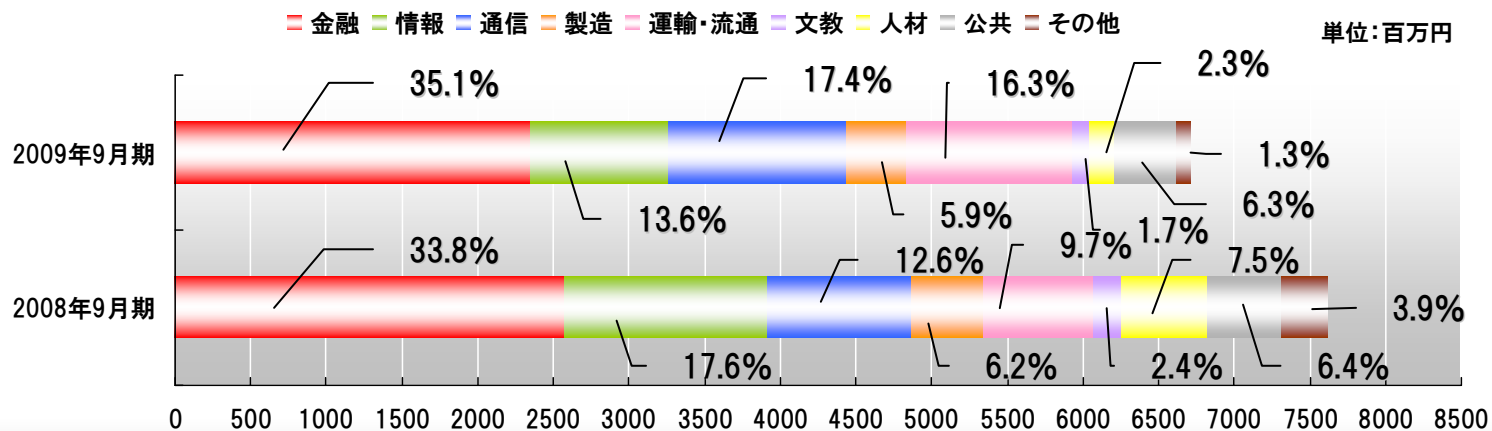
	2008年9月期		2009年9月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,628	100.0%	6,726	100.0%	△ 902	-11.8%
システム開発	4,176	54.8%	4,194	62.4%	17	0.4%
保守・運用	2,383	31.2%	1,956	29.1%	△426	-17.9%
ライセンス・パッケージ	771	10.1%	385	5.7%	△ 385	-50.0%
Webデザイン	177	2.3%	124	1.8%	△ 53	-30.1%
その他	118	1.6%	64	1.0%	△ 53	-45.2%



I - 04 業種別売上

単位:百万円未満切捨

	2008年9月期		2009年9月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	7,628	100.0%	6,726	100.0%	△ 902	-11.8%
金融	2,579	33.8%	2,359	35.1%	△ 219	-8.5%
情報	1,339	17.6%	913	13.6%	△ 426	-31.8%
通信	959	12.6%	1,173	17.4%	214	22.3%
運輸・流通	736	9.7%	1,099	16.3%	362	49.3%
人材	570	7.5%	155	2.3%	△ 415	-72.8%
公共	489	6.4%	422	6.3%	△ 67	-13.8%
製造	474	6.2%	396	5.9%	△ 78	-16.5%
文教	180	2.4%	115	1.7%	△ 64	-35.8%
その他	298	3.9%	90	1.3%	△ 208	-69.7%



◆ 情報システムは必要不可欠な機能となっている

近年、情報システムが経済・社会の基盤として必要不可欠な機能となっている状況においては、ITバブルが崩壊した頃のような急激な情報産業の低迷はないものと認識しておりますが、世界的な景気悪化の影響により、企業の情報システム投資予算の絞り込みが行われており、情報システム開発の受注環境の厳しさは2010年頃まで続くことを想定しております。

◆ 十分分散された顧客ポートフォリオを構築

金融危機の影響を大きく受けた業界の案件減少は避けられないものの、当社は十分に分散された顧客ポートフォリオを構築しているため、比較的安定した事業基盤を有しております。

今期経営方針

社員一人一人の知恵、経験、技術、人脈を結集し、どこよりもお客様から感謝される会社となり、業界トップクラスの収益力の実現を目指す。

昨年度に引き続き不景気が続いている本年度においても、経費のムダを徹底して排除することにより収益性の維持に努めるとともに、財産である社員の能力を磨く事に努め、優秀な人材の育成を強化しながら、景気回復期に向けて基礎体力の向上を図る。

今後の施策

- ①キヤノン電子グループとの協業推進
- ②事業部門間の連携強化による受注競争力の強化
- ③優秀な人材の採用と育成の強化
- ④業務の効率化による生産性の向上
- ⑤品質マネジメントシステムの構築
- ⑥情報セキュリティ管理の強化
- ⑦コンプライアンス推進の強化

II - 07 連結業績予想

単位：百万円未満切捨

	2009年9月期		2010年9月期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	6,726	100.0%	7,300	100.0%	573	8.5%
営業利益	145	2.2%	200	2.7%	54	37.1%
経常利益	174	2.6%	215	2.9%	40	23.4%
当期純利益	89	1.3%	115	1.6%	25	27.8%

2010年9月期の連結業績予想につきましては、上記記載のように売上高7,300百万円(前期比8.5%増)、営業利益200百万円(前期比37.1%増)、経常利益215百万円(前期比23.4%)、当期純利益115百万円(前期比27.8%増)を予想しております。

商号	アジアパシフィックシステム総研株式会社 ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH Co.,Ltd.
設立	1970年4月
決算期	9月末日
主な事業の内容	情報処理サービス業
本社	東京都豊島区
代表取締役社長	内山 毅
会長	鈴木 善昭
取締役	江崎 博 佐藤 秀行 平林 正基
監査役	萩原 哲雄 中島 義雄 原 恒夫 清水 栄一
資本金	23億9,991万円(2009年9月末現在)
主要株主	キヤノン電子株式会社
発行済株式数	900万2千2百株(2009年9月末現在)
従業員数	604名(連結)(2009年9月末現在)
拠点	本社(東京)、関西支社(大阪)、九州支社(福岡)、沖縄支社
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ソリューション開発 ・日本NonStopイノベーション株式会社

本資料で記述されている内容は、アジアパシフィックシステム総研株式会社の現時点に関する入手可能な情報に基づき、一部主観的な前提をおいて合理的に判断したものであるため、様々な要因の変化により、将来の結果は大きく異なる可能性があります。